

三水会会報

北里大学水産学部
同窓会会報
第 21 号

平成 3 年 3 月 10 日発行

編集者 大野 良樹

発行 三水会（北里大学
水産学部同窓会）

事務局 〒246 神奈川県横浜市瀬
谷区瀬谷5-22-1石井方
☎ 045-303-3135

振替口座 第一勧業銀行
大手町支店
008-1182388

三陸キャンパスの近況（水産学部学生課長 川内浩二教授）
職場紹介 水産庁資源課に勤務して（9A・山尾修司）
～近況報告～OB会アメリカンフットボール部（7F・小林 昇）
北釣会・全日本大学釣り選手権大会優勝（北釣会主将 魚山誠一郎）
「第18回漁火祭」（実行委員長 高橋裕幸）
「深海の“おいしい水”を有効利用」（1A・其阿弥喜嗣）

Information

※平成3年総会の開催について

※会社説明会の開催について

※北海道支部親睦会の開催について

※関東地区親睦会の開催について

※ニジマス甘露煮・南蛮漬の通信販売



北釣会 全日本釣り選手権大会優勝

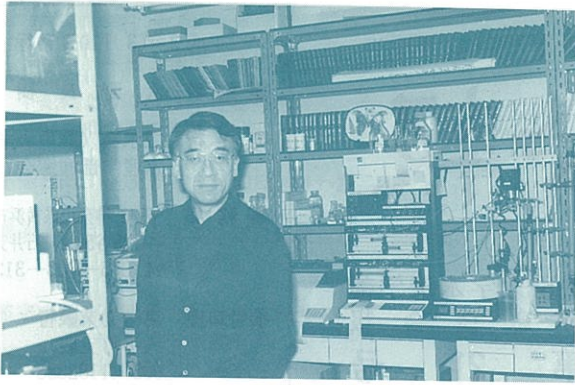
第18回 漁火祭



三陸キャンパスの近況一学生課から

学生課長 川内 浩司

新年明けましておめでとうござい
ます。三水会会員の皆様に、水産学
部学生課一同から御挨拶申し上げま
す。皆様には、在学生の就職やクラ
ブ活動に対しご援助を頂き有難うご
ざいました。今年も、よろしくご支
援下さいますようお願い申し上げます。



川内先生・近影

学生課の務めは、在学生の生活と
就職のお世話をするのですが、今
年度、従来の三陸地区厚生指導委員
会が学生指導委員会に改組され、福
利厚生に関する諸問題の解決のため
の組織も一層強化されました。私は
歴代の学生課長の実績を引継いで、
ベテランの熊谷さんと信任の小川さ
んに助けて貰いながら、二期目の学
生課長を務めています。今回の寄稿
では、三陸キャンパスの学生生活の
近況をご紹介します。

環境… 水産学部創設以来、キャ
パス周りの自然環境にあまり変化は
見られませんが、大平荘からロータ
リーに至る林道は、小壁漁港関連道
路として拡幅、舗装され、間もなく
開通します。また、四五号線沿いに
三陸縦貫道路の建設も始まりました。
トンネルが三陸峠を貫通し、立根や
三陸町側の小峠のあたりも樹木が伐
採されて工事が始まっています。一
〇年も経てば、皆さんは仙台から高
速道路で三陸を訪れることができる
ようになるでしょう。また、この

キャンパスにもいよいよ学生ホール、
食堂、階段教室を備えた校舎が建つ
ことになりました。場所は第四校舎
の海側の谷（現在駐車場）が有力候
補地です。

北里会… 体育会、文化会共に活
発に活動しています。今年度の快挙
は、北釣会の第四回全日本大学釣選
手権大会での総合優勝でしょう。参
加大学六七校中、しかも優勝候補で
あった東海大学を破ったことであ
り、学生、教職員の喜びもひとしお
でした。来年度も優勝を期待してい
ます。

北里大学の中で有名になったのが
例の“大漁踊り”です。昨年度の相
模原校舎での北里祭に参加し好評を
拍したことから、今年度は相模原だ
けでなく、獣医畜産学部の紅葉祭に
も“出演”しました。見物した人達
は夫々異なった感想をもったよう
ですが、モヒカン刈りや丸坊主の“赤
フン踊り”は都会の学生の軟弱な気
風に活を入れる効果はあったよう
です。

従来、北里会の決算は大幅に遅れ、
これが予算の成立を遅らせると云う
悪循環に陥っていましたが、執行部
の努力が実を結んで、正常に戻りま
した。これに応えて今年度から、大

学からの北里会への援助もこれまで
の三倍以上に増額され、遠征や合宿
の経費、諸施設の改善に当てるよう
になりました。課外活動が一層活発
になることを願っています。

住いと通学… 最近、下宿より
もアパートに人気があり、新築のも
のは全てバス・トイレのある“高級
アパート”です。三五、〇〇〇円以
上の家賃も珍しくなくなりました。
通学の交通事情は今も昔も大差あり
ません。岩手県南バスは一時限の講
義開始に一〇分近づけて、八時四三
分に到着するようにダイヤを変更し
ましたが、期待に反して利用者は増
えていません。そのかわり、自動車
通学者はどんどん増えて、駐車台数
は三〇〇を超えてしまいました。出
席率の高い月曜日と火曜日の校内は
車で満杯になってしまい、駐車場の
確保に悩まされています。さいわい
にも、今年度はたいした交通事故も
なく過ぎてはっとしているところ
です。

食堂… ポリユームがあり美味し
くてしかも安い昼食を摂りたいと云
う願望は、なかなか叶えられるよう
にありませんが、新校舎の食堂は吉
浜湾のパノラマビューを備えた環境
につくられる予定ですので、なんと

か知恵を絞ってこの夢を実現したいものです。大学の最も近くにあった志学荘は、経営者が変わり、改装されて鹿鳴館となりました。ここに洒落た軽食喫茶「フオンタナ」ができ、ポリュームがあって美味しいとなかなかの評判のようです。

就職… このところの好景気に支えられた売手市場と云うことで新学期と同時に企業の求人活動が始まるようになりました。今年度は就職ガイダンスを四月までの三回行い、五月から七月に毎月二日ずつ企業研究会を行いました。これらの企画では、三水会の幹部および多くの会員の皆さんのお世話になりましたが、おかげさまで七月までにはほぼ全員が希望する企業を見つけることができました。

このように就職、求人が早期化していますので、来年度の企業研究会は四月と五月で集中的に開催します。今までと同様にご協力下さい。

また、学生課では、企業選別に役立つようにと、約一、八〇〇の企業の求人データをコンピュータに入力し、求人票の諸項目で検索できるシステムを作りました。今年是企业毎に三水会員名を入力する予定です。これが完成すると三水会員の業種別

のネットワーク作りなどにも活用できます。水産微生物学講座の河原先生が熱心に受験指導をして下さるおかげで、公務員合格者も年々増えていきます。この合格率をさらに上げるには公務員となられた三水会員からの情報も大切です。いろいろな情報は学生課までご連絡下さい。

国際化… 当初から毎年多数の外国人研究者がこのキャンパスを訪れていたことを思い出されるでしょうが、最近、ますます国際的になってきました。ロンドン大学出身でノル

職場紹介

水産庁資源課に勤務して

山尾 修司(9A)

私が水産庁に入庁して、今年で七年目を迎えようとしております。最初の配属先は北海道さけ・ますふ化場で、サケ・マス増殖事業に携わり、常に生き物に接する現場の仕事で、四年間経験してきました。そして平成元年の四月に、水産庁の資源課に勤務を命ぜられ今日に至っております。

ウエー人のマリアン ランド・ウイーバー先生が専任の助手として活躍していますし、ブラジル、メキシコ、キューバからの大学院への国費留学生や、ブラジル、アメリカ、ノルウエー、オランダなどからの短期留学の大学院生も増えています。

以上、三陸キャンパスの近況の幾つかをご紹介します。この三月には一七期生一七〇人が卒業し、三水会も二四四六名を擁する大組織となります。皆さんの一層のご活躍を期待しています。



水産庁は千代田区霞が関の農林水産省八階にあり、古風な建物の中に十八課六〇〇人弱の職員が水産行政を担っております。

我が国の水産業を取り巻く情勢は、皆様ご承知のとおり、二〇〇海里体制の定着、近海での水産資源状態の

悪化、漁業経営体質の弱体化等厳しいものがあります。

しかし一方では、消費者の健康志向等による水産物の需要拡大、栽培漁業などの「つくり育てる漁業」や「資源管理型漁業」への取組み等、水産関係分野への国民の関心と期待は一層高まっております。

このような経済社会情勢や国民ニーズの変化に対応し、国民への水産物の安定的供給と我が国水産業の振興を図ることが水産庁の任務であります。

そして我が資源課は、水産業が利用する多種多様な海洋水産資源の調査、開発や漁海況予報、そして技術普及等に関する施策を推進しております。そのうち、私が担当している班は、海洋水産資源の開発を行うために設立された認可法人海洋水産資源開発センターの監督部署となっております。指導や同センターへの補助金の予算作業等を主な仕事としております。

特に、予算関係の作業は、事業内容を決定付ける重要な仕事で、四月項より十二月の大蔵省の概算決定まで様々な資料の作成や、大蔵省との折衝が続きます。この大蔵折衝は夜間に行われることが多く、日付が

変ってから帰るといふ事が幾日もあります。しかし、予算が決定した時の充実感と、打上げに皆で飲む酒の旨さは格別なものがありません。

このような作業を行うには、幅広い知識と情報力が必要であります。常々自分の勉強不足を痛感させられる毎日であり、いかに今まで狭い物の見方をしてきたか考えさせられます。

こうした中で、同じ北里大学水産学部出身の各分野で活躍されている友人達と酒を飲みかわしつつ、情報交換をしたり、激論を交わしたり、まるで学生時代と同じような関係をもてる事は、仕事上だけでなく、人生にとってもプラスとなり、とても素晴らしい事だと思います。

現在、水産庁本庁にいる北里大出身者は三名であり、水産庁全体をみますと五名おりますが、年々増える見込みだと聞いております。そろそろ学閥をつくらうかなどという話も取り出してあります。

各水産業あるいは各分野に携わる卒業生諸士、諸兄と、タテ、ヨコの繋がりを取りつつ、明日の水産業あるいは各分野を差えていくようお互いがんばりましょう。

アメリカンフットボール部

OB会の近況報告

アメリカンフットボール部OB会もおかげ様を持ちまして設立されてから、はや一年が過ぎようとしております。初年度ということで事務局も不慣れな事ばかりで、試行錯誤を繰り返しながら一年があつという間に過ぎてしまいました。

どの様にして会員の皆様と連絡を取ればいいのか、どうしたら現役の学生の手助けになるのか、幹部が顔を合わせればいいのか、その話ばかりで頭が痛くなります。それぞれに仕事をかかえながらの活動でもあり、予定をした時期に会報が出せなかったり、連絡が不十分であったり、思い切つてOB会を設立したものの問題は山積みになっていきます。OB会会員の皆様には本当にご迷惑ばかりかけています。

今年には設立二年目になり、地固めの年と思っています。会員の皆様とも良く連絡を取りOB会の発展に全力をあげたいと思っています。

そのような中で今年には中間年あたり総会は開催しない年になってお

小林 昇 (7F)

り、(OB会規約の中で二年に一度の開催と規定されている)六月に幹事を開催する予定で準備を進めています。

なお連絡の取れない会員も数名おります。アメリカンフットボール部OBで事務局から連絡の届いていな

北釣会、全日本大学釣り選手権大会 優勝

文化会北釣会

水産増殖学科三年 主将 魚山 誠一郎

水産学部北釣会は今年も全日本大学釣り選手権大会に出場しました。この大会は昭和六十二年から開催されているもので、本年は石川県が主催し、十月十九日、二十一日の三日間、全国六五大学二六六名が参加して開催されました。今年で四回目となるこの大会は毎回開催地となる県を中心に県下の市町村が主催するもので、全日本学生釣魚連盟が後援、株式会社「がまかつ」が協賛して行われます。

目的は各学生釣り団体の親睦を深

い方はお手数ですが左記の事務局まで連絡して下さい。

最後になりましたが、OB会会員の皆様、又三水会会員の皆様の御協力をお願いいたします。

北里大学水産学部体育会アメリカンフットボール部OB会事務局
〒一六七
東京都杉並区本天沼二一九一九

TEL〇三―三三九九―四一八四
小林 昇

め、釣技の向上を目指し、また主催者の文化や観光資源を紹介することを目的として行われています。水産学部北釣会は北里大学三陸校舎として二回目、相模原北釣会も北里大学相模校舎として三回目の出場となりました。

競技種目はルアー、投げ釣り、磯釣り、スポーツキャストイングの四部門において、各部門別に、個人戦及び四部門の総合成績で競われました。我々の北釣会からは二年一名、三年二名、四年一名が参加しました

が、魚種も釣り方も三陸とは異なり、ハンドキャップを背負っての戦いとなりました。参加選手は初めての場所ので慣れない釣りとあつて悪戦苦闘を強いられました。常日頃三陸の海で鍛えた腕とノウハウを生かして精一杯の努力をしました。その甲斐あつてか、部門別ではルアー部門で二位、投げ釣りで六位、スポーツキャスティングで八位、磯釣りで十六位と、何れの部門も好成績を上げ、出場二回目にして見事、総合優勝を果たしました。



★フィッシング・ニュース★

第4回 全日本大学釣り選手権大会

第一回及び二回大会優勝、昨年度は準優勝の東海大学海洋学部（今年大会準優勝）がマスコミヤ各参加大学

から注目されていましたが、これを抑えての優勝は部員一同、まさに嬉しい限りです。未だ、二回しか出場

していない新参の部ですが、単なる幸運による優勝であったとのそしりを受けぬよう、今後とも我々のモツ



白波の立つ8m前後に投げ込んで、ていねいに巻きとっていた早稲田大の鶴田貴子選手。並いる男性を尻目に堂々8位に入ったのが目立った。



▶5.3mの竿に1.5号のハリスで磯際を重点的に攻めて、25cm級のグレ4枚とチヌ1枚を釣り優勝した広島修道大の原正展選手。

北里大が65校の頂点に…



福島の都で優勝した北里大（正展）の選手と左から西島秀久（ルアー）及び川崎（投げ）、町田理（キャスティング）、朱山（磯）

学生の釣りの祭典「全日本大学釣り選手権大会」第4回（西川県大）が、羽咋市を中心し、10月20、21日の両日開催された。参加校も年々増加して65校となり、244名（うち女性15名）の選手によって、投げ釣り、スポーツキャスティング、ルアー、磯釣りの4部門に分かれて行なわれた。前日までの激しい雨もあつて、快晴の下4会場とも予想以上の産果に大いに盛り上がりを見せていた。

投げ釣りとスポーツキャスティング会場は、

個人戦

種別	ポイント
〈投げ釣り〉	
1 東山 篤 (東海大一清水)	45.8
2 黒沢 祥一 (千葉商科大)	23.0
3 小原 孝生 (国土館大)	20.4
4 田村 光平 (桃山学院大)	16.6
5 宮地 弘 (同志社大)	16.6
〈スポーツキャスティング〉	
1 魚本 誠 (神戸学院大)	114.34
2 藤内 誠 (東海大一清水)	107.80
3 斉藤 祐一 (慶応大)	104.77
4 堀水 穂勝 (九州大)	101.60
5 三浦 貴文 (城西大)	99.14
〈ルアー・フライフィッシング〉	
1 宇根 一 (東洋大)	578
2 西尾 芳久 (北里大一岩手)	472
3 鈴木雄太郎 (駒澤大)	169
4 西嶋 浩 (京都大)	
5 前山 晶 (北海道大)	
※1位、5位は前日の釣果により決定	
〈磯釣り〉	
1 原 正展 (広島修道大)	1214
2 渡辺 忠一 (北海道大)	882
3 天野 明夫 (福井工業大)	630
4 高下 卓也 (鳥根大)	550
5 菊本 人士 (大阪府立大)	
団体戦	
1 北里大 (岩手)	336
2 東海大 (清水)	312
3 東洋大	302
4 明 星	241
5 北海道	236

海辺をクルマが走れることで有名な、千葉県海浜幕張、千原浜国民体育館を中心し、右に投げ釣り、ルアー、スポーツキャスティングに分かれる。高い波、向い風、そして横に流れる潮に参加選手は苦戦をしいられた。この悪条件の中、前日3位の横山選手が今年のキアアを生かし、秋田キッス6号、ハリス1.5号を駆使して釣りまくって優勝。

スポーツキャスティング

2日間で5校、成績のよい回の平均距離で争うもので、参加者は52名、非力な女性ながらも集まった部門であった。

「同じ投げでも魚が釣れた方が楽しい」といっていた魚本選手が優勝。

ルアー・フライフィッシング

七尾市の多様ダム湖で行なわれ、2人1組でポイントにのり、プラグバスの3層重畳で争われた。

水況がいまいちだったところもあつて、2日目にはバスをみつけた3名だけ、と厳しい結果になってしまったが、ポイント選定を優位にした早稲一選手が優勝。

〈磯釣り〉

富良野の長崎の地磯で行なわれ、20cm以上のグレ、チヌ、マダイと、他魚にそれぞれの係数をかけたポイントで争われた。

ウキ2ヒロ、マキエトウキを磯際に落とすとして潮のせて流す戦法が功を奏した原正展選手が他を寄せつけずに優勝。

一方、団体戦では北里大（岩手）が、ルアー部門2位、投げ釣り部門2位、スポーツキャスティング部門7位に入る健闘を見せて、2位に4ポイントの差をつけて優勝。2位は前回同様、東海大、清水が入った。

トーとする団体での行動力、そして三陸での釣りから得た成果を十分に生かし、来年の優勝を目指して頑張っていきたいと思っています。

「第十八回漁火祭」



北釣会の今回の快挙に対して三水会では水産学部文化会よりの申請に基づき、クラブ助成金を贈りました。今後、ますますの活躍を期待します。

実行委員長 高橋 裕幸
(水産食品学科三年)

平成二年十月二十七・二十八日の両日にわたり開催された、第十八回漁火祭も無事終える事ができました。今回はテーマを「燃え尽きるまで漁火祭：九〇」と題して、九〇年代の新しい水産学部をイメージする事を目標として活動しました。前日はどしゃ降りのお雨で天候が心配されましたが、両日とも天候に恵まれ、雲一つない晴天となりました。

初日は、恒例である体育会の大漁踊りを町へ送り出したのち、校内では、各展示及び模擬店の準備がはじまりました。十八回目の漁火祭を前年度のものより一層良いものとするため、できるだけ多くの展示や模擬店を各団体から出してもらい、展示内容にも水産学部の特色が良く出るよう、心掛けてもらいました。

第一日目はそれ程多くの人出は見



られませんでした。模擬店ではかなり多くの品物が売れた様子でした。また、展示や模擬店以外では、体育会主催の卓球・バドミントンを中心とするオープンスポーツが好評となり、白熱した大会となりました。

第二日目は、朝早くから多くの人々が来て頂き、大変な賑わいとなりました。特に午後からの軽音楽部によるコンサートは好評で、一曲終了するごとの拍手の音で校内がいっぱいとなりました。

最終イベントの後夜祭には、漁火



祭終了を惜しむ多くの学生達の参加がみられ、Mr.美人、鬼も恐がるクラブ対抗ガマン大会、チキチキバンバン猛レース、バンド演奏など多くの企画によって大いに盛り上がり、後夜祭は夜おそくまで続きました。

このように、第十八回漁火祭がすばらしいものとなりましたのは、協力を惜しまず努力して下さったスタッフの皆様と、多大な援助をして下さった三水会の方々のおかげだと思っております。

「深海の『おいしい水』を有効利用」

国土総合建設(株)

其阿弥 喜嗣 (1A)

はじめに

私の務める会社は、国土総合建設株式会社といって、主に海洋土木工事を主体に行なっている建設会社です。所属部署は技術開発部といって新工法や海洋作業ロボットなどの開発を行なっています。どちらかというところ、大学時代の勉強から程遠いハードの開発が多い中で、一年程前からやっと水産に縁のある研究も始めました。今回はその研究内容を少し紹介してみようと思います。

それは、「人工湧昇流による深層水の利用と漁場開発」と言うもので、栄養豊かで未利用の深層水を人工的に海面まで上げることにより、新たな漁場を作り出そうとするものです。

人工湧昇流の発生技術

自然の好漁場は深層水と湧昇流に深い関わりがあります。そして、天然の湧昇流は、海面近くまで海底火山がせり上がっていたり、強い底

層流が存在することなどに起因しています。

しかし、人工的にこれらを再現することは困難であり、可能な限り小さな構造物とゆるい底層流から強い湧昇流を作り出すことが、人工湧昇流発生技術の課題となります。

話は変わりますが、自然界における湧昇流は海に限った事ではなく、河川にも存在します。その典型といえるのが河川におけるボイル、コルクという現象です。これは河川底から極めて強い上昇流が発生し水面に激しくぶつかる現象であり、この上昇流が河床の砂を大量に浮上させることから河川工学上で最も重要な現象の一つに上げられ、多くの研究がなされてきています。この中で、最近、下流に向かう三日月状の河床の背後に強い上昇流が起こることがわかりました。これは三日月状の障害物が流れの中に存在するために、その背後にU字型の渦が発生し、しかもこの渦が上向きに自己誘導速度をもつこともわかりました。

このような事実から、共同研究者である埼玉大学の浅枝助教等のグループは上向きに誘導速度をもつU字型の渦を作ることが、人工湧昇流発生技術の鍵であると考え、こうした渦を形成するような構造物をいろいろ検討しました。その結果、下流方向に向けたV字型の板が最適であるとの結論を得ました。

ここで、V字型構造物の湧昇流発生機構を長々と説明しても退屈になるだけだと思いますので、ここでは説明図だけを紹介だけにしますが、先のグループによる水槽実験では発生した渦流が構造物の高さに対し、およそ十一倍の高さまで達する事が確かめられています。

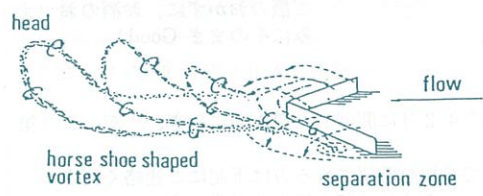
人工湧昇流による深層水の利用と漁場開発

このV字型構造物を漁場となる要因を持たず底層流の存在する水深一〇〇m〜三〇〇mの海域に設置することにより、海底の栄養塩が海面に持ち上げられ、先にお話した食物連鎖によって設置位置後方に数キロメートルにわたって好漁場が造成される事になる訳です。

この研究開発は、埼玉大、九州大、芝浦工大等の若手研究者と青木建設

国土総合建設で「人工湧昇流開発利用研究会」を組織して行っているもので、平成四年度には実証実験を行いたいと考えております。皆様方の周りに実験フィールドを提供し、私と共に一緒に開発を進めて下さる公団、漁協に心当たりがあれば、連絡を下さることをお願いします。

また、この研究会では今回紹介したものの他に、地球環境問題にせまる「深層水による〇〇の吸収」、天の橋立を消滅から救う「漂砂の制御」、上昇流による「離島の人工降雨技術」等、ユニークな利用技術の開発も行っていますので、また機会があれば紹介したいと思います。



図一 V字型構造物周辺の流れの模式図

事務局よりのお知らせ

平成3年度総会の開催について

下記より平成3年度総会を開催いたします。
(会員は傍聴できます。)

開催日時：平成3年5月19日(日) 11:00～

開催場所：北里大学薬学部E号館3階301会議室
(白金校舎内)

協議事項：・平成2年度事業報告・決算
・平成3年度事業計画・予算
・代議員・理事の選任
・その他

関東地区親睦会の開催について

例年開催しております関東地区会員を主な対象とした親睦会を、本年度は久しぶりに「す立て網」の企画で下記により開催いたします。

「す立て網」というのは、潮の干満を利用し、固定式の網に残された魚を手掴みで獲るものです。そして、獲った魚を船の上で料理するという昔ながらの遊びです。お子さんも楽しめますので、ご家族連れで是非ご参加ください。

参加希望の方、また、参加は未定でも詳しい案内状の送付を希望される方は、別添申込書によりお申し込みください。6月頃、ご案内を差しあげます。

開催日：平成3年7月27日(土)
開催場所：千葉県木更津市金田海岸
集合場所：午前10時(現地集合)
参加費：1人 3,000円(予定)

水産学部よりのお知らせ

会社説明会の開催について

例年開催しております、水産学部在学学生を対象とした会社説明会を三陸校舎において開催いたします。
来年度求人を希望されている企業に勤務されている会員の方で参加を希望される方は、人事担当者にご相談の上、水産学部学生課までご連絡下さい。
なお、説明会は、4～7月にかけて開催される予定です。

会員からのお知らせコーナー

ニジマスの甘露煮・南蛮漬の通信販売

山形県東根市は、最上川水系の湧水地帯の地の利を生かして、昔からニジマス養殖が行われています。平澤養鱒場はこの東根市にあり、私達食品学科2回生ペアの夫婦が三代目として生産・加工にがんばっています。
薬剤等一切使わない、ピチピチ元気のニジマスの味をどうぞ皆様でお楽しみください。

品名	値段	内容
A. ほのぼのセット	3,800円 (送料込)	甘露煮 5尾入×3袋 南蛮漬 5尾入×2袋
B. 甘露煮セット		甘露煮 5尾入×5袋
C. 南蛮漬セット		南蛮漬 5尾入×5袋

【申込み先】

「平澤 正幸」
〒999-37 山形県東根市荷口294
TEL 0237-47-0256

甘露煮：醤油と砂糖だけで煮込みました。
さっぱりとした甘さで辛党の人にも Good!

南蛮漬：ニジマスを焼いて、空揚げし、醤油、砂糖、南蛮粉のタレに漬け込みました。
ご飯のおかず、お酒のおつまみにそのまま Good!

北海道支部親睦会の開催について

北海道在住の方には既にご案内を差しあげておりますが、昨年2月に開催した第1回に続き、下記により第2回親睦会を開催いたします。

開催も近づいておりますが、まだ、申し込まれていない方で参加を希望される方は下記にご連絡ください。

開催日時：3月30日(土) 19:00～21:00 (ホテルのチェックインは15:00より可能です。)

開催場所：ホテル ポールスター札幌 (札幌市中央区北4条西6丁目 TEL 011-241-9111)

参加費：宴会のみ 7,000円 宴会・宿泊 12,000円

連絡先：武田 011-856-2317 (自宅) 011-222-3916 (会社)